

経済産業省「サービス産業強化事業費補助金
(認知症共生社会に向けた製品・サービスの効果検証事業)」

主な審査項目

審査項目	主な内容
本事業の趣旨との整合性	<ul style="list-style-type: none"> ● 実証の対象となる製品・サービスの提供価値が本事業の背景・目的に沿ったものであり、認知症当事者やその家族を十分に配慮したものであるか ● 認知症共生社会の実現に向けた現状の環境・課題等を的確に捉えられているか ● 当該製品・サービスに十分な社会的意義、社会的必要性が認められるか
社会実装に向けた展望 (事業としての将来性)	<ul style="list-style-type: none"> ● 当該製品・サービスが社会実装された後の展望や戦略が明確であり、一層の開発・普及等の将来性が認められるか ● 事業目的として、当該製品・サービスの社会実装にとどまらず、業界や国際的なフィールドにおける標準化に資することを企図しているか(加点項目)
実証の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 当該製品・サービスの社会実装に当たっての課題が明確であり、実証の具体的な必要性が認められるか
実証デザインの妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ● 実証における対象者の構成、評価のポイントや評価手法が妥当であるか ● 公募要領に従い、実証ごとの趣旨・内容で設定される主評価に加えて、本人および家族のQOLを評価するための共通評価指標を計画に組み入れているか ● 公募要領に従い、認知症の人の意思決定支援(同意取得含む)を計画に組み入れているか
実証の実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業の目的を達成するため実行計画が具体的かつ妥当であり、認知症当事者やその家族に配慮しつつ策定しているか ● 事業の実施のために必要な体制(研究機関やフィールドとの連携を含む)を構築し、また支出計画を策定しているか ● 個人情報の取り扱い含む厳格なデータ管理の体制を構築しているか ● 補助事業の取組みに対し十分な積極性を有しており、またそれを裏付けるこれまでの取組実績が認められるか
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 団体又は事業者が令和元年度「なでしこ銘柄」、「準なでしこ」の認定を受けているか(加点項目) ● 団体又は事業者が「健康経営銘柄2020」、「健康経営優良法人2020」の認定を受けているか(加点項目) ● 団体又は事業者がJ-Startup企業として認定を受けているか(加点項目)